

比較地域特殊研究

担当者 金 早雪

開講時期 通年 単 位 4

特殊研究は1～3年次の3年間を通して行われる演習科目です。

●講義の概要

東アジア諸国の特徴として、①遅れた<近代化>、②独立後の急速な経済発展、③現代グローバル化の下の緊密化、などをあげることができよう。そこで本講義では、東アジアの19世紀以降の政治経済の歩み、独立後の急速な経済発展の要因と成果（功罪）、そして現代の相互依存と日本の立ち位置について考えたい。

具体的な内容や進め方は、受講者と相談したい。

●講義の到達目標

①19世紀以降の東アジアの政治経済の歩みを国際関係（世界経済史）のもとで理解すること。

②「東アジアの奇跡」とも称される急速な経済発展の要因と成果について、いずれかの国・地域の事例をもとに、理解すること。

③グローバル時代の東アジアの経済の緊密化（RCEP発効など）について、日本の経済・社会に関連づけて、理解すること。

●講義計画

おおむね2コマをワンセットとして、そのテーマに関する基本文献等のレクチャーと院生の課題発表をもとに討論を行いたい。

- 1.2. パクス・ブリタニカ自由貿易とアジア
- 3.4. 朝鮮の開国（1876年）と<近代化>
- 5.6. 金本位制と日清戦争
- 7.8. 戦間期「円圏」の経済・貿易構造
- 9.10. パクス・アメリカナ自由貿易とアジア
- 11.12. 日本の復興・ODAとアジア
- 13.14. 「東アジアの奇跡」論
- 15.16. 韓国「漢江の奇跡」と政府
- 17.18. 韓国「漢江の奇跡」と財閥・中小企業
- 19.20. 韓国「漢江の奇跡」後の社会動態
- 21.22. 中国「改革開放」政策と「一帯一路」
- 23.24. ASEAN結成から経済統合へ
- 25.26. アジア通貨危機と通貨協力
- 27.28. 日本の実習生受け入れのあり方
- 29.30. アジア経済統合の現状と課題

●成績評価基準と方法

課題発表（宿題） 30%

討論 20%

レポート2回（予定） 25%×2回

（微調整する場合があります）

●テキスト又は参考文献

テキスト等は受講生と相談して決めたい。

●受講上の留意点

JETRO-アジア経済研究所のサイトなどを上手に活用してほしい。